

千代田町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (17年度末)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B/A	(参考) 16年度の人件費率
17年度	人 11,730	千円 3,744,817	千円 257,452	千円 967,652	% 25.8	% 22.6

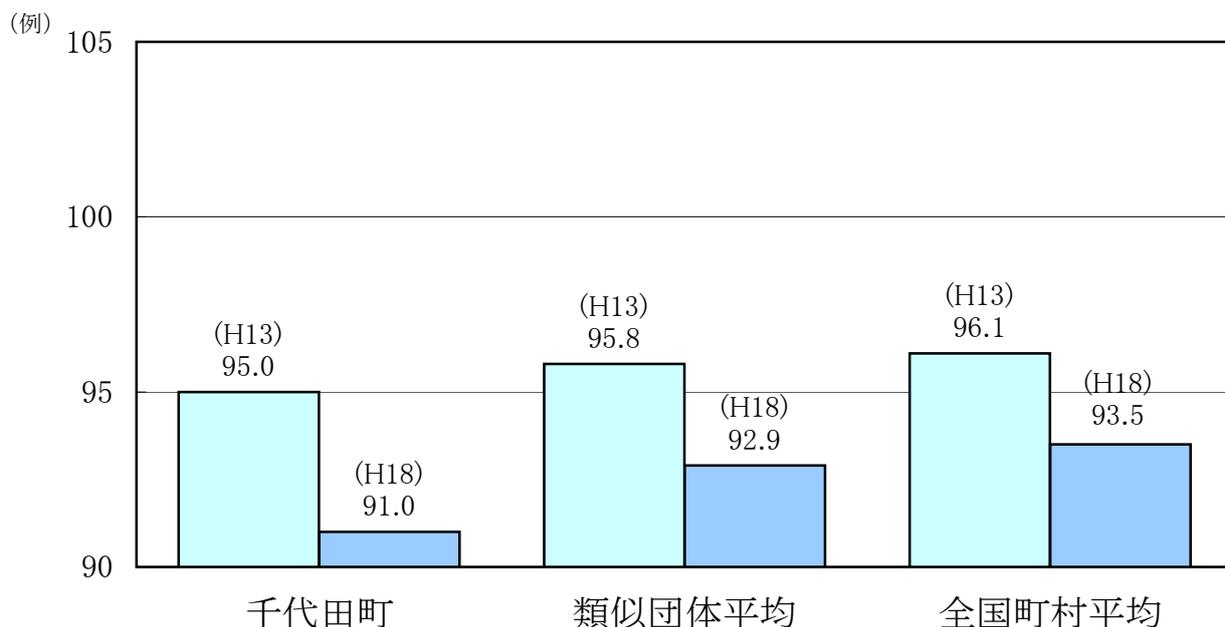
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
17年度	人 107	千円 413,631	千円 60,530	千円 164,739	千円 638,900	千円 6,096	千円 5,851

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、17年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項 なし

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(5) 給与改定の状況

①月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
○年度	円	円	円 (%)	%	%	%

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)		
○年度	月	月	月	月	月	月

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（18年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
千代田町	41.1 歳	319,872 円	357,190 円	350,797 円
群馬県	43.4 歳	363,177 円	427,752 円	390,342 円
国	40.4 歳	328,477 円	—	381,212 円
類似団体	42.8 歳	327,403 円	369,469 円	355,321 円

②技能労務職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
千代田町	53.2 歳	317,075 円	331,325 円	329,075 円
群馬県	46.1 歳	320,117 円	347,086 円	335,723 円
国	48.4 歳	286,500 円	—	318,595 円
類似団体	48.4 歳	278,144 円	294,638 円	289,004 円
民間事業者平均	48.8 歳	—	339,242 円	—

③教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
千代田町	45.7 歳	321,616 円	338,950 円
群馬県	43.6 歳	402,303 円	445,339 円
類似団体	42.7 歳	322,313 円	338,843 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、18年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況(18年4月1日現在)

区 分		千代田町	群馬県	国
一般行政職	大学卒	170,200 円	175,300 円	170,200 円
	高校卒	142,800 円	141,700 円	138,400 円
技能労務職	高校卒	142,800 円	137,300 円	—
	中学卒	— 円	— 円	—
教育職	大学卒	170,200 円	195,600 円	—
	高校卒	142,800 円	170,400 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(18年4月1日現在)

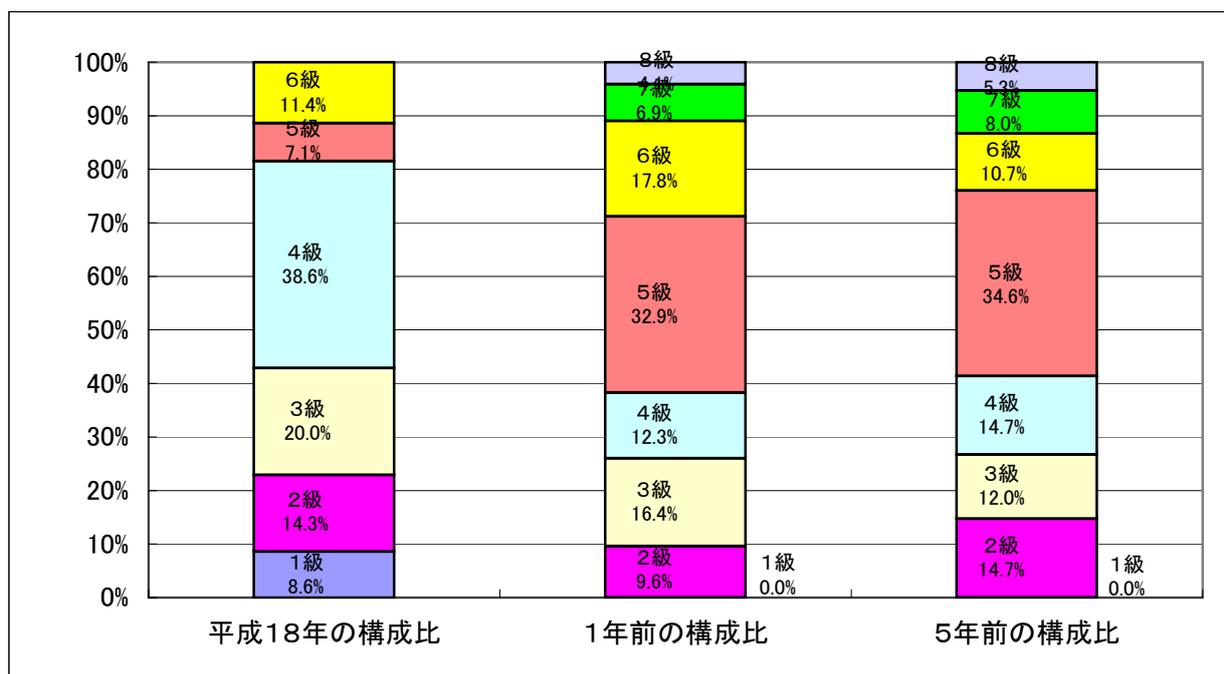
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	250,600 円	302,200 円	343,300 円
	高校卒	210,700 円	258,600 円	310,600 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（18年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6 級	課長の職務	8 人	11.4 %
5 級	課長補佐の職務	5 人	7.1 %
4 級	係長又は主査の職務	27 人	38.6 %
3 級	主任の職務	14 人	20.0 %
2 級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	10 人	14.3 %
1 級	定型的な業務を行う職務	6 人	8.6 %

- (注) 1 千代田町職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給期間短縮の状況

区 分		全 職 種
○年度	職 員 数 A	人 —
	普通昇給期間(12~24月)を 短縮して昇給した職員数 B	人 —
	比 率 B/A	% —
○年度	職 員 数 A	人 —
	普通昇給期間(12~24月)を 短縮して昇給した職員数 B	人 —
	比 率 B/A	% —

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

千代田町	群馬県	国
1人当たり平均支給額(17年度) 1,603 千円	1人当たり平均支給額(17年度) 1,880 千円	—
(17年度支給割合) 期末手当 3 月分 勤勉手当 1.45 月分 (1.6)月分 (0.75)月分	(17年度支給割合) 期末手当 3.05 月分 勤勉手当 1.4 月分 (1.6)月分 (0.75)月分	(17年度支給割合) 期末手当 3 月分 勤勉手当 1.45 月分 (1.6)月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理監督者加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

(2) 退職手当 (18年4月1日現在)

千代田町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特別措置 (2%~20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特別措置 (2%~20%加算)	
(退職時特別昇給	なし)				
1人当たり平均支給額	千円 24,857 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、17年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 ※制度なし

(18年4月1日現在)

支給実績(17年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(22年度の制度完成時)

支給対象地域	支給率	国の制度(支給率)
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%

(注) 国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

(4) 特殊勤務手当 ※制度なし

支給実績(17年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)		円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(17年度)		%	
手当の種類(手当数)			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価

(5) 時間外勤務手当

支給実績（16年度決算）	4,618 千円
職員1人当たり平均支給年額（16年度決算）	69 千円
支給実績（17年度決算）	4,004 千円
職員1人当たり平均支給年額（17年度決算）	58 千円

(6) その他の手当（18年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (17年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 (支給額) 配偶者 13,000円 配偶者以外2人まで各6,000 円 3人目以降各5,000円 子(16歳年度始め～22歳年 度末) 加算5,000円	同		11,290 千円	19,465 円
住居手当	借家・借間 12,000円を超え る家賃の額に応じて支給(最 高27,000円) 持家(新築・購入後5年間) 2,500円	同		2,325 千円	178,846 円
通勤手当	交通用具使用者 片道2km以上 2,000円～24,500円	同		3,256 千円	44,000 円
管理職手当	課長、局長 給料月額14% 課長補佐 給料月額12% 係長 給料月額11%	同		25,850 千円	615,476 円

5 特別職の報酬等の状況（18年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	553,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	()	()	874,000 円/	325,000 円
	助 役	543,000 円	680,000 円/	325,000 円
	()	()		
報 酬	収 入 役	— 円	612,000 円/	440,000 円
	()	()		
	議 長	308,460 円	380,000 円/	220,000 円
	()	()		
期 末 手 当	副 議 長	235,710 円	285,000 円/	176,000 円
	()	()		
	議 員	213,400 円	270,000 円/	152,800 円
	()	()		
退 職 手 当	町 長	(18年度支給割合)		
	助 役	4.45	月分	
	収 入 役	(18年度支給割合)		
	議 長	4.45	月分	
備 考	副 議 長	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期)		
	議 員	退職日給料月額×1年につき520/100	11,502,400	任期ごと
	町 長	退職日給料月額×1年につき300/100	6,516,000	任期ごと
	助 役			

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

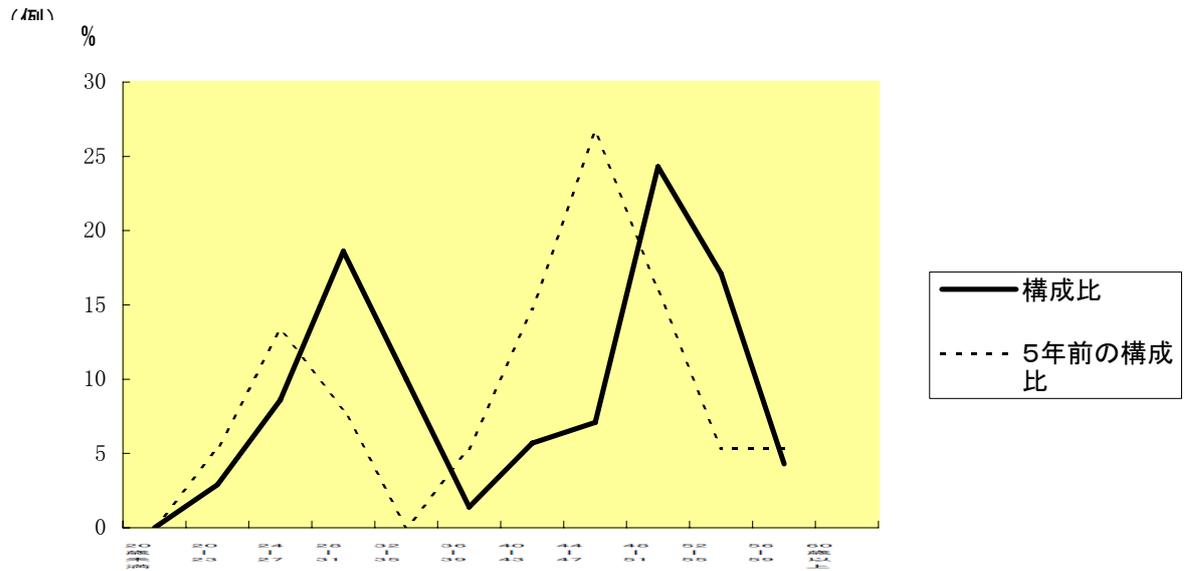
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成18年	平成17年			
普通会計部門	議 会	2	2			
	総 務	25	28	-3	機構改革による職員減	
	税 務	10	10			
	一 般 行 政 部 門	労 働				
	農林水産	5	5			
	商 工	2	2			
	土 木	8	9	-1	機構改革による職員減	
	民 生	23	24	-1	機構改革による職員減	
	衛 生	6	6			
	計	81	86	-5	<参考> 人口1,000人当たり職員数 6.91 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 8.75 人)	
	教育部門	27	29	-2		
消防部門						
小 計	108	115	-7	<参考> 人口1,000人当たり職員数 9.21 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 11.01 人)		
公 営 企 業 計 等 部 門	水 道	4	4			
	下 水 道	2	3	-1	機構改革による職員減	
	そ の 他	6	4	2	地域包括支援センター開設に伴う増	
	小 計	12	11	1		
合 計		120	126	-6	<参考> 人口1,000人当たり職員数 10.2 人	
		[138]	[138]	[0]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（18年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	人	2人	6人	13人	7人	1人	4人	5人	17人	12人	3人		70人

(3) 定員管理の数値目標及び進捗状況

① 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日職員数	平成22年4月1日職員数	純減数	純減率
126人	116人	10人	7.9%

(参考) 千代田町行財政改革大綱における定員管理の数値目標（数・率）

計画期間		数値目標
始期	終期	
平成16年4月1日	平成20年3月31日	4名以上を削減

②定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

(各年4月1日現在)

部 門	区 分	17年	18年	○ 年	○ 年	○年～○年	(参考)
		計画始期	1年目	○ 年 目	○ 年 目	計	数値目標
一般行政	職員数	86	81			—	
	増 減		-5			(%)	
教 育	職員数	29	27			—	
	増 減		-2			(%)	
消 防	職員数					—	
	増 減					(%)	
公 営 企 業 等 会 計	職員数	11	12			—	
	増 減		1			(%)	
計	職員数	126	120			—	
	増 減		-6			(%)	

- (注) 1 計画期間は、17年～22年の5年間である。
 2 (%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。
 3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示す。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 16年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
17年度	252,713	1,584	35,578	14.0	9.5

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
17年度	4	18,853	2,353	7,652	28,858	7,214

(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
千円 6,971

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
 2 職員数は、18年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

17年度に1名増

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（18年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
千代田町	50.2 歳	395,850 円	581,918 円
団体平均	44.8 歳	376,947 円	577,214 円
事業者	— 歳	—	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

千代田町		団体平均	
1人当たり平均支給額(17年度)		1人当たり平均支給額(17年度)	
1,913 千円		1,788 千円	
(17年度支給割合)		(〇年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
3 月分	1.45 月分	月分	月分
(1.6)月分	(0.75)月分	()月分	()月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算 5~20%			

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（18年4月1日現在）

千代田町			団体平均		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	月分	月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	月分	月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	月分	月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	月分	月分
その他の加算措置	定年前早期退職特別措置 (2%~20%加算)		その他の加算措置		
(退職時特別昇給	なし)			
1人当たり平均支給額	千円	- 千円	1人当たり平均支給額	千円	16,069 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、17年度に退職した職員に支給された平均額である。

なお、本町の水道事業の退職者1人当たり平均支給額は、対象者がいないため、記載していません。

ウ 地域手当 ※制度なし

(18年4月1日現在)

支給実績(17年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(22年度の制度完成時)

支給対象地域	支給率	一般行政職の制度(支給率)
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%

(注)国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

エ 特殊勤務手当 (18年4月1日現在) ※制度なし

支給実績(17年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)		円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(17年度)		%	
手当の種類(手当数)			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価

オ 時間外勤務手当

支給実績(16年度決算)	134千円
職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)	67千円
支給実績(17年度決算)	200千円
職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)	100千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（18年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (17年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 (支給額) 配偶者 13,000円 配偶者以外2人まで各6,000円 3人目以降各5,000円 子(16歳年度始め～22歳年度末) 加算5,000円	同		162 千円	162,000 円
住居手当	借家・借間 12,000円を超える家賃の額に応じて支給(最高27,000円) 持家(新築・購入後5年間) 2,500円	同		0 千円	0 円
通勤手当	交通用具使用者 片道2km以上 2,000円～24,500円	同		164 千円	164,000 円
管理職手当	課長、局長 給料月額14% 課長補佐 給料月額12% 係長 給料月額11%	同		595 千円	595,000 円

④定員管理の数値目標及び進捗状況

ア 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
4 人	4 人	0 人	0 %

(参考) 千代田町行財政改革大綱における定員管理の数値目標(数・率)

計画期間		数 値 目 標
始 期	終 期	
平成16年4月1日	平成20年3月31日	なし

イ 定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

→6(3)②を参照